

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

- (1) 学生の確保の見通しと申請者としての取組状況
 - ①学生の確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
 - ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
 - イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要・・・・・・・・ p. 2
 - ②学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
- (2) 人材需要動向等社会の要請
 - ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・ p. 3
 - ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3

添付資料

- 資料 1：一般（前期日程）入学試験志願者数及び第 1 段階
選抜実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 4
- 資料 2：学校推薦型選抜（旧推薦）入学試験志願者数・・・・・・・・ p. 5
- 資料 3：長野県からの医学部医学科学校推薦型選抜の定員増要請書・ p. 6

学生の確保の見通し等について

(1) 学生の確保の見通しと申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学では、推薦及び一般（前期日程）にて入学試験を実施している。一般（前期日程）では【資料1】のとおり過去5年間で多くの志願者を確保している。また、令和5年度まで長野県内の高校出身者を対象とした推薦についても、【資料2】のとおり継続的な志願者確保を行っている。この度、令和6年度から、恒久定員枠も活用して推薦の募集人員を増員し、長野県の地域医療を志す多様な人材確保に努めるが、令和5年度入試まで長野県内高校に限っていた地域枠の出願要件を全国募集することにより、全国から優秀な学生が出願できる体制を整えて志願者確保に努める。これらのことから入学定員の再度の増員を行っても、引き続き優秀な学生の確保が行えると見込まれる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

前項アで挙げた根拠データの詳細な内容は以下のとおりである。

- 1) 一般（前期日程）入学試験志願者数及び第1段階選抜実施状況
過去の入学者数及び入学志願実績を【資料1】に示した。
- 2) 学校推薦型選抜（旧推薦）入学試験志願者数
過去の入学者数及び入学志願実績を【資料2】に示した。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

7月7日に「信州大学令和6年度入学者選抜要項」にて再度の入学定員増の構想を公表し、7月8日に開催された高校教員向けの信大ガイダンスにて高校教員に周知を行うとともに、例年6～7月に行っている学校推薦型選抜入学実績がある県内高校への説明会を本年度は13校から計355名の参加申込があり、開催した。

また、信州大学医学部医学科に出願実績のある全国の高校（過去2年間）に地域枠の全国募集を郵送案内することで、受験者数の確保を図っている。

(2) 人材需要動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医学及び医療に関する分野の高度な研究を行うとともに、豊かな人間性と広い学問的視野を持ち、柔軟な思考力及び洞察力並びに問題を自発的に発見し、解決する能力を身につけた医師及び医学研究者並びに医療技術者及び医療研究者を育成し、医学及び医療研究並びに医療活動による国際貢献を果たし、地域医療の発展に寄与することを目的とする。この目的の下、医師の地域偏在が深刻になっている長野県内で、唯一の医学系大学である本学医学部医学科の入学定員 15 名を再度増員することによって、県内の地域医療を担う医師不足の解消に貢献する。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

医師数の地域間格差は依然として大きな社会問題となっており、地方では診療科全般にわたって、住民が十分な医療を受けられない事態が生じている。

この事態に対応するため本学は長野県とも連携の上、医学部医学科の入学定員について上記のとおり増員を行ってきたところである。

県内の医師不足が続く長野県唯一の医学系大学である信州大学医学部は、県民に質の高い医療を将来にわたって提供するため、県と連携して医師不足の解消に向けた取組みを行っているところではあるが、本年 4 月に厚生労働省が示した医師偏在指標（暫定値）において、長野県は全国 36 位の医師少数県であり、依然厳しい状況は続いている。

地域の医師確保という面では、医学部医学科卒業生の内、他県出身者を含めて約 50%程度が長野県内に定着し地域医療に貢献してきた。県内高校出身者に至っては約 80%程度の卒業生が卒業後も長野県内に定着して、地域の医療を支えている。また、今回増員を申請する 15 名については、学校推薦型選抜において長野県医学生修学資金の貸与を必須とすることを出願要件とする「地域枠」の定員とし、確実に長野県内に定着するよう入試を実施するとともに、長野県からの要請（【資料 3】）に対応し、恒久定員を活用して学校推薦型選抜は募集人員を 35 名【地域枠 22 名、地元出身者枠 13 名】とする計画を立てている。このことから、今回の医学部医学科入学定員の再度の定員増に伴い、県内で定着し活躍する医師の供給につながる事が期待できる。

【資料1】

一般（前期日程）入学試験志願者数及び第1段階選抜実施状況

年度	募集人員	志願者数	第1段階 選抜合格者数	入学者数	志願 倍率	定員 充足率
令和5	95	380	未実施	95	4.00	100%
令和4	95	383	未実施	95	4.03	100%
令和3	95	476	380	95	5.01	100%
令和2	95	372	未実施	95	3.92	100%
令和元	100	625	500	100	6.25	100%

【資料2】

学校推薦型選抜（旧推薦）入学試験志願者数

年度	募集人員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
令和5	25	68	25	2.72	100%
令和4	25	82	25	3.28	100%
令和3	25	67	25	2.68	100%
令和2	25	73	25	2.92	100%
令和元	20	61	20	3.05	100%

5医看第82号
令和5年(2023年)6月16日

国立大学法人
信州大学医学部長 奥山 隆平 様

長野県知事 阿部 守一



令和6年度からの医学部医学科学学校推薦型選抜の定員増について（依頼）

本県の健康福祉行政の推進につきまして、平素から格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本県は、本年4月に厚生労働省が示した医師偏在指標（暫定値）においても全国36位の医師少数県であり、医師の確保が県政の最重要課題の一つとなっております。

貴学におかれては平成17年度より地域枠を設置し、地域医療を担う医師の確保に多大な御貢献をいただいておりますが、県としては、将来の地域医療提供体制の維持・確保に向けて、地域枠等の更なる増員の必要性を認識しているところです。

つきましては、医療法第30条の24に基づき、令和6年度以降における貴学医学部医学科学学校推薦型選抜の入学定員について、下記のとおり増員を図っていただくよう要請いたします。

記

- | | |
|----------|-------------------|
| 1 地域枠 | 7名の定員増（15名 → 22名） |
| 2 地元出身者枠 | 3名の定員増（10名 → 13名） |

（問合せ先）

担当 健康福祉部 医師・看護人材確保対策課